

安全データシート

作成日：2019年11月12日

1. 化学品及び会社情報

製品名 : 塩化ニッケル(Ⅱ)六水和物
会社名 : チカモチ純薬株式会社
住所 : 大阪市北区大淀南1-9-16(山彦ビル)
担当部門 : 営業部門
電話番号 : 06-6453-2062
FAX番号 : 06-6453-2063

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

| | |
|-----------------|----------|
| 急性毒性(経口) | 区分 3 |
| 呼吸器感作性 | 区分 1 |
| 皮膚感作性 | 区分 1 |
| 発がん性 | 区分 1A |
| 生殖毒性 | 区分 1B |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 区分 2 (肺) |

環境有害性

水生環境有害性(急性) 区分 3

(注) 記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有毒

吸入するとアレルギー、ぜん息または、呼吸困難を起こすおそれ

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
水生生物に有害

注意書き

安全対策

- 環境への放出を避けること。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 保護手袋を着用すること。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

- 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
- 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
- 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 口をすすぐこと。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

廃棄

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択：

化学物質

| | |
|---------|------------------|
| 成分名 | 塩化ニッケル(II)(6水和物) |
| 成分名[別名] | - |
| 含有量 (%) | 96(min) |
| CAS No. | 7791-20-0 |
| 化審法番号 | 1-242 |
| 化審法 | - |

(注記:これらの値は、製品規格値ではありません。)

危険有害成分

安衛法 「表示すべき有害物」該当成分 塩化ニッケル(II)(6水和物)

| | | |
|-----|----------------|------------------|
| 安衛法 | 「通知すべき有害物」該当成分 | 塩化ニッケル(II)(6水和物) |
| 化管法 | 「指定化学物質」該当成分 | 塩化ニッケル(II)(6水和物) |

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 周辺設備に適した消火剤を使用する。

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法 関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火を行う者の保護 防火服/防炎服/耐火服を着用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。適切な保護具を着用する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 掃き集めて、容器に回収する。
 二次災害の防止策 漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止) 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止) 熱/火花/裸火/高温な着火源から遠ざけること。ー禁煙。

局所排気、全体換気 排気/換気設備を設ける。

注意事項 皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項 保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件 容器を密閉しておくこと。直射日光を避け、換気の良い冷暗所(または暗所)で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度 作業環境評価基準(2009) $\leq 0.1\text{mg-powder Ni}/\text{m}^3$

許容濃度 日本産衛学会(2011) $0.01\text{mg-Ni}/\text{m}^3$ (水溶性化合物);

$0.1\text{mg-Ni}/\text{m}^3$ (水溶性でない化合物)

ACGIH(1996) TWA: $0.1\text{mg-Ni}/\text{m}^3(\text{I})$ (肺障害; 鼻がん) (可溶性化合物)

TWA: $0.2\text{mg-Ni}/\text{m}^3(\text{I})$ (肺がん) (不溶性化合物)

OSHA-PEL TWA: $1\text{mg-Ni}/\text{m}^3$ (Metal and insoluble compounds)

TWA: $1\text{mg-Ni}/\text{m}^3$ (Soluble compounds)

ばく露防止

設備対策 適切な換気のある場所で取扱う。洗眼設備を設ける。手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具 呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具 保護手袋を着用する。

眼の保護具 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：結晶

色：緑色～黄緑色

臭いデータなし

pHデータなし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点データなし

沸騰範囲のデータなし

融点/凝固点データなし

分解温度データなし

引火点データなし

自然発火温度データなし

爆発特性データなし

蒸気圧データなし

比重/密度データなし

溶解度

水に対する溶解度：極めて溶けやすい

n-オクタノール/水分配係数データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 データなし

化学的安定性 潮解性がある。

危険有害反応可能性 加熱分解し非常に有毒な塩素ガスを発生。

避けるべき条件 混触危険物質との接触。火源との接触。

混触危険物質 酸化性物質

危険有害な分解生成物 塩化水素、塩素、ニッケル酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性(経口) [日本公表根拠データ] (塩化ニッケル(II)(6水和物))

male rat LD50=175mg/kg (NITE初期リスク評価書, 2008)

労働基準法: 疾病化学物質 塩化ニッケル(II)(6水和物)

局所効果 データなし

| | | |
|------------------------------|-------------------|---|
| 感作性 | 呼吸器感作性 | [日本公表根拠データ] (塩化ニッケル(II)(6水和物)) cat. 1; 産衛学会勧告, 2013 |
| 皮膚感作性 | | [日本公表根拠データ] (塩化ニッケル(II)(6水和物)) cat. 1; 産衛学会勧告, 2013 |
| 生殖細胞変異原性 | データなし | |
| 発がん性 | | [日本公表根拠データ] (塩化ニッケル(II)(6水和物)) cat.1A; IARC Gr.1 (IARC vol. 100C, 2012 et al.) IARC-Gr.1: ヒトに対して発がん性がある ACGIH-A1(1996): 確認されたヒト発がん性因子 (肺がん) 日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる 証拠が比較的十分でない物質 |
| 生殖毒性 | | [日本公表根拠データ] cat. 1B; NITE初期リスク評価書, 2008 |
| 短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響 | | |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | [区分2] [日本公表根拠データ] | 肺 (NITE初期リスク評価書, 2008) |
| 吸引性呼吸器有害性 | データなし | |

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に有害

水生毒性(急性) 成分データ [日本公表根拠データ]
魚類 (メダカ) LC50=11mg/L/96hr (環境省生態影響試験, 2006)

水生毒性(長期間) 成分データ [日本公表根拠データ]
魚類 (メダカ) NOEC=1.1mg/L (環境省生態影響試験, 2006)

残留性・分解性 データなし

生体蓄積性 データなし

土壤中の移動性 データなし

オゾン層破壊物質 データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法 環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 : 3288

正式輸送名 :

その他の毒性固体、無機物、N.O.S.

分類または区分 : 6.1

容器等級 : III

指針番号: 151

特別規定番号 : 223; 274

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号 : 3288

正式輸送名 :

その他の毒性固体、無機物、N.O.S.

分類または区分 : 6.1

容器等級 : III

特別規定番号 : 223; 274

IATA 航空危険物規則書

国連番号 : 3288

正式輸送名 :

その他の毒性固体、無機物、N.O.S.

分類または区分 : 6.1

危険性ラベル : Toxic

容器等級 : III

特別規定番号 : A3; A5

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

MARPOL条約附属書V - 廃物排出による汚染防止

発がん性: 区分1, 1A, 1B 該当物質

生殖毒性: 区分1, 1A, 1B 該当物質

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法 該当しない。

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 管理第2類

| | |
|-------------------------|----------------------|
| 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 | |
| 名称表示危険/有害物 | (別表第9の418) |
| 名称通知危険/有害物 | (別表第9の418) |
| 化学物質管理促進(PRTR)法 | 特定第1種指定化学物質 (特1-309) |
| 消防法 | 該当しない。 |
| 大気汚染防止法 | 有害大気汚染物質/優先取組 |
| 船舶安全法 | 毒物類 毒物 分類6 区分6.1 |
| 航空法 | 毒物類 毒物 分類6 区分6.1 |
| 水質汚濁防止法 | 指定物質 |

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 (2012年)
JIS Z 7252 (2014年)
2018 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information

コメント

この安全データシート(SDS)は、JISZ7253:2012に準じており、記載されている内容は、発行時点において、入手可能な情報・データに基づいて作成しています。運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先に、ご自身の責任においてご使用下さい。また、ここでの注意事項は通常の手配り方をすることを前提に記載しており、他の製品と混ぜ合わすなどの特殊な取扱い方法は想定しておりません。その際は、使用環境に適した安全対策を自ら実施し、安全確保の上、ご利用下さい。なお、全ての製品には、未知の危険性を有する可能性があります。新たな知見が得られた時は、許可無く変更する場合があります。また、物性値や危険有害性情報などは、弊社製品規格書等とは異なることもあります。また、いかなる保証をなすものでもありません。